

病害虫の 見分け方 シリーズ

シラホシカメムシ類3種の見分け方, 発生生態および被害

石川県農林総合研究センター 農業試験場 や お み よ
八 尾 充 睦

はじめに

現在, 斑点米を発生させるカメムシ類として9科65種が判明しているが(安永ら, 1993), 実際の重要種は10種前後でありまた, 地域により異なる(農林水産省, 2001)。このうち, シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis* (以下, シラホシと表記), トゲシラホシカメムシ *Eysarcoris aeneus* (以下, トゲシラと表記) およびオオトゲシラホシカメムシ *Eysarcoris lewisi* (以下, オオトゲと表記) のシラホシカメムシ類3種は, 斑点米の発生が全国的に問題となった1970年代以降から, 全国の広い地域で発生予察や防除対策の対象種として位置づけられている(岩田・葭原, 1976; 農林水産省, 2001)。また, 3種の発生について, オオトゲは比較的北の北海道, 本州に, 前2種は比較的南の本州, 四国, 九州に分布するが, いずれも山間地のみならず平坦地にも発生しており, 広い地域で2種ないし3種の混棲地域も見られる。そこで, ここではシラホシカメムシ類3種の見分け方を中心に, その生態特性, 被害等についても解説する。

I シラホシカメムシ類成虫の見分け方

成虫の体長はシラホシカメムシ類3種とも5~7mm前後であり, 形態的にも酷似している。シラホシは淡い灰褐色をした体形がスリムなカメムシで, 前胸背側角の突出がほとんどなく先端は丸く, 小楯板基部両側の黄白色の紋が, トゲシラやオオトゲに比べ小さいことが特徴である(図-1)。トゲシラの背面はおおむね淡褐色で黒い点刻がある(図-1)。背面頭部下(前胸背板)の黒い点刻は不均一で, 前胸背板上に白いスジがあるように見えるのに対し, 背面が灰褐色であるオオトゲの点刻は密でそのような部分はない(図-1, 図-2)。また, トゲシラの腹部下面は大きい淡褐色の斑紋があるのに対し, オオトゲにはそのような斑紋はなく, 全体に銅色光沢を帯びた黒色を呈する(図-2)。

シラホシカメムシ類(*Eysarcoris* 属)には, 前記の3種のほか, ムラサキシラホシカメムシ(ツヤマルシラホシカメムシ) *Eysarcoris annamita*, マルシラホシカメムシ *Eysarcoris guttiger*, の2種も斑点米を発生させるカメムシとして記録されているが(安永ら, 1993), 水田内で多発することは少ない(平井・川村, 2003)。これら2種は, シラホシのように前胸背側角先端は丸く突出せず, 小楯板基部両側の黄白色の紋はシラホシより大きいことと, 体色は紫色がかっていることで識別できる。安永ら(1993), 平井・川村(2003)には, 2種の写真のほか生態についても解説されている

シラホシカメムシ

トゲシラホシカメムシ

オオトゲシラホシカメムシ

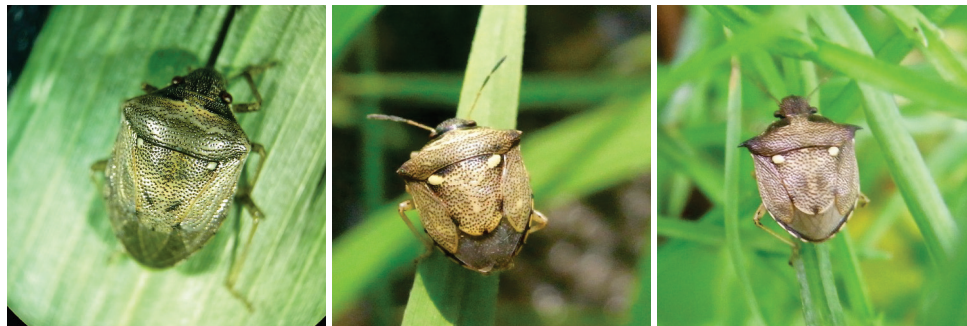


図-1 シラホシカメムシ類3種の成虫

Species Identification, Ecological Characteristics and Damage of the Three *Eysarcoris* of Rice Stink Bugs Causing Pecky Rice.

By Mitsuyoshi Yao

(キーワード: シラホシカメムシ, トゲシラホシカメムシ, オオトゲシラホシカメムシ, 種の識別, 発生予察)